



# 一年の無病息災を願い 列つくる初夏風景 白石神送り

白石地区に伝わる祭典、「神送り」が5月13日に行われました。神送りは、厄病払・かぜの神送りとして江戸時代中期に伝承され、1年間の無病息災を願う、県の無形民俗文化財に指定されている行事です。

当日はあいにくの雨天でしたが、地域の皆さんは雨にも負けず、行政区境までの長い距離を、厄病などが書かれた旗を持ち行列をつくりました。これで皆さんの一年の健康が守られることでしょう。

「年々子どもが少なくなっていくね」と、村外から写真を撮りに来た方がおっしゃっていました。埼玉県が指定しているとあり、この行事は後世につなげていかなければならない精神的生活の所産です。古くからある伝統を風化させないためにも、子どもたちにとってほしい、むしろ知らせなくてはいけないものと考えます。白石の神送りは他地域の方でも、どなたでも参加できます。大切な行事が守られるよう、来年、多くの方々、子どもたちが参加してくれることを願います。



笑って楽しんで、ところにより感動…  
そんなひと時をあなたに

## 二本木峠山開き & 山つつじ歓笑祭



5月5日（祝・土）、坂本地内の二本木峠では、ふれあい坂本会の皆さんにより山開きの祭典が行われ、それに併せ、二本木峠旧キャンプ場の付近一面に咲く山つつじを観ながらステージで行われる演舞や演奏を楽しむ「山つつじ歓笑祭」が毎年行われます。

今年の山つつじは気候の具合により、例年より早く咲き歓笑祭の時には満開をだいぶ過ぎていましたが、その分、ステージの催しが華を咲かせてくれました。

恒例のフラダンス、和太鼓演奏、バンド演奏などが歓笑祭に訪れた皆さんを大いに沸かせ、会場は山つつじが無くともすばらしい場となったようです。

## 花とともに 色を織り成す写真展



白石地内において4月8日（日）から22日（日）まで、東秩父写真友会主催の「花の中の写真展」が開催されました。名前のとおり、春の花々が辺り一面に咲き誇る白石で開催される写真展は、毎年多くのファンが訪れます。今年も「開催を楽しみにしていました」と、ハイキングを楽しみながら訪れた方は笑顔でおっしゃいました。また、初めて訪れた方は、「こんな素敵な写真展があったなんて・・もっと早く気づいていれば毎年来たのに」と悔やむ声も聞きました。

「花の中の写真展」は毎年、春の花が咲くころ皆さんのお越しをお待ちしています。まだご覧になっていない方は、新しい春の楽しみ方を味わってはいかがでしょうか。

## 東秩父村教育委員会 開催のお知らせ

東秩父村教育委員会の会議を右記日程で開催します。

日 時 6月22日（金）  
午後3時30分から  
場 所 役場新会議室  
問合せ 教育委員会事務局 ☎82-1230